

さいたま市立浦和博物館館報

## あかんさす

VOL. 43-2

通号 第 109 号

ACANTHUS : BULLETIN OF SAITAMA MUNICIPAL URAWA MUSEUM

## 札所めぐり ～新秩父三十四所と足立坂東三十三所～



▲南区四谷観音▶  
「足立坂東三十三所」第14番

平成27年の春は、長野の善光寺で数え年で7年に一度（丑と未の年）の御開帳が行われ、多くの参詣者で賑わうことでしょう。秘仏の本尊「一光三尊阿弥陀如来」のお身代わり、「前立本尊」のお姿を拝むことができます。

秘仏を拝観できるこの「御開帳」、昨年の春は、午年ということで観音様の御開帳が行われました。市内には、坂東三十三観音の第12番の慈恩寺（岩槻区慈恩寺）をはじめ、坂東や秩父の観音霊場の写しの霊場（札所）も4つあります。中には、東京から観音霊場をバスで巡るツアーもあるほどでした。

今号では、当館周辺の2つの観音霊場を紹介します。

## ■ 目 次 ■

札所めぐり	1～3
春から夏の行事カレンダー	4
日誌抄	4



平成26年の春彼岸、市内東部にひろがる「新秩父三十四所」の観音霊場で、12年に一度の御開帳が始まりました。秩父三十四所の写しの霊場とされ、見沼たんぼ周辺、見沼区・緑区・浦和区・大宮区に観音霊場が点在します（下表参照）。

それぞれの観音霊場では、春の彼岸の入りから明けまでの7日間、観音様を安置したお厨子を開き、観音様とお堂の前に立てた回向柱とを善の綱で結び、観音様と縁を結びます。



▲大興寺観音堂の御開帳の様子  
(左：昭和29年、右：平成26年)

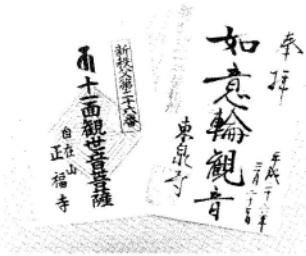
この回向柱、各寺院やお堂で準備するもので、毎回新調するところもあれば、前回の柱を削り直して使っているところ、今回新調したところもありました。全てが宗教法人ではなく、ムラ持ちのお堂であったり、個人所有のお堂であったりと、檀家やお堂の年番、念仏講などの地域の人々の担うところが大きく影響しているのだと思われま

り、湯茶の接待をしたり、次の霊場への案内をしたりと、地域の方々がいなければ成り立たない行事となっています。

一方、この方々は、御開帳の間、近くの霊場を行ったり来たり

することはあっても、全ての霊場を巡ることは無いようで、それぞれの地域以外の霊場のことは分からないようでした。それでも、数か所の霊場では、御詠歌をまとめたり、地図を載せたりと、参拝者のための冊子を配布してくれるところもありました。

興味深かったのは、30番慈眼寺で作成した『新秩父廿四観音札所納経帖』。表紙に、第廿九回御開扉 平成廿六年 春彼岸「初開扉 延宝六年（西暦一六七八年） 午年」と書かれていました。6番観音堂にも、27番大島堂が発行した冊子を写した巻子に「延宝6年の御開帳とも伝えられています」と記しています。『浦和市史研究 第6号』には、創設は天明6年（1786）と記されていますので、記述を信じれば、今までの説より108年も遡ることになります。



▲12番東泉寺(右)と19番正福寺の御朱印

◆ 新秩父三十四所一覧 ◆

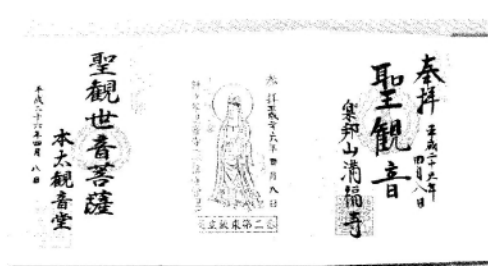
札番	名称	札所本尊	所在	札番	名称	札所本尊	所在
1	観音堂	聖観世音	見沼区笹丸	18	相之谷堂	聖観音	浦和区上木崎
2	光徳寺	聖観世音	見沼区膝子	19	正福寺	正観世音	浦和区上木崎
3	円徳寺	聖観世音	緑区下野田	20	本地堂	聖観世音	浦和区上木崎
4	大興寺	観世音	緑区大門	21	萬日堂	馬頭観世音	大宮区宮町
5	総持院	聖観世音	緑区南部領辻	22	観音堂	子易観世音	大宮区天沼町
6	観音堂	馬頭観音	見沼区染谷	23	圓蔵院	十一面観世音	見沼区中川
7	堂山	馬頭観世音	見沼区片柳	24	宝乗院	如意輪観世音	見沼区中川
8	見沼堂	観世音	見沼区片柳	25	宝生院	聖観世音	見沼区御蔵
9	宝蔵院	馬頭観世音	緑区山崎	26	正福寺	十一面観世音	見沼区蓮沼
10	中原堂	白衣観世音	緑区三室	27	大島堂	正観世音	見沼区南中丸
11	前窪堂	観世音	浦和区木崎	28	覚蔵院	如意輪観世音	見沼区春岡
12	東泉寺	如意輪観音	浦和区瀬ヶ崎	29	観音寺	十一面観世音	見沼区深作
13	吉祥寺	十一面観世音	緑区中尾	30	慈眼寺	聖観世音	見沼区小深作
14	中尾堂	十一面観世音	緑区中尾	31	観音堂	馬頭観世音	見沼区宮ヶ谷塔
15	桑原堂	正観世音	緑区中尾	32	観音堂	十一面観世音	見沼区新堤
16	観音堂	観世音	緑区中尾	33	天神山	如意輪観世音	見沼区風渡野
17	長覚院	聖観音	浦和区領家	34	大圓寺	聖観世音	見沼区風渡野

※16番は廃寺、観世音菩薩像不明。21番萬日堂は東光寺、24番宝乗院は圓蔵院、29番観音寺は宝積寺、33番天神山は大圓寺に安置。札書本尊は、主に御朱印による。



一方、宝永2年(1705)、足立郡塚越村高橋源太郎正教が創設した「足立坂東三十三所」の観音霊場は、4月6日から4月12日の7日間、御開帳が行われました。こちらは、さいたま市、川口市、戸田市、東京都北区にまたがっており、札元の33番定正寺(現在は上寺である三学院)が主となって、御開帳の日程の調整を行います。今回は本堂の新築工事や、個人持ちで接待が難しいなどの事由で3ヶ所で御開帳が行われませんでした。期間は、2週間御開帳する年もあれば、今回のように1週間となる年もあります。また、ポスターや地図、冊子などの作成も行い、各霊場に配布します。

それぞれの霊場では、新秩父の観音霊場同様、お堂の前に回向柱を立て、観音様と善の綱で結びます。こちらも廃寺となっているところがありますが、残ったお堂や引き継いだ寺院に檀家さんや年番の方が集まり、参拝者への御朱印、湯茶の接待を行っていました。新秩父と比べ範囲は広いですが、住職を先達とした檀家さんの集団や、念仏講のグループで詣で、



▲右より、1番、2番、3番の御朱印

御詠歌を申し上げる方々が多かったように見受けられました。最近は、念仏講を行う所も減ってきてはいますが、中には、御開帳に合わせ、観音経の練習を行う所もあったほどです。また、



▲御開帳にあわせ、お茶菓子の袋を用意した霊場も

### 足立坂東観世音霊場

#### 御開扉帳

平成26年4月6日(日)～4月12日  
開扉受付時間 午前9時～午後5時  
塚越 定正寺(観音堂)  
足立坂東観世音霊場 札所御開

▲定正寺でいただいた御開帳記念の手ぬぐい

札元の定正寺は、今回の御開帳にあわせ、観音堂の改築を行い、新しくなったお堂に観音様を安置し、参拝者をお迎えしていました。

今回は、2つの観音霊場を回りましたが、市内には西区を中心とする足立新秩父三十四所や、西区福寿庵の西国・坂東・秩父の観音霊場を写した百観音などもあります。皆、次回の御開帳は、12年後になりますが、足立三十三所は、「丑年」平成33年(2021)に「中開扉」という御開帳を行います。近隣の観音様を巡ってみてはいかがでしょうか。(T)

### ◆ 足立坂東三十三所一覧 ◆

札番	名称	札所本尊	所在	札番	名称	札所本尊	所在
1	満福寺	聖観音	北区日進町	19	海禅寺	十一面観世音	戸田市上戸田
2	廓信寺	聖観世音	浦和区北浦和	20	三学院	十一面観世音	蕨市北町
3	瑞岸寺	聖観世音	浦和区本太	21	三蔵院	聖観世音	蕨市中央
4	普門寺	千手観世音	南区太田窪	22	常福寺	聖観世音	戸田市仲町
5	観音堂	聖観世音	緑区三室	23	観音寺	聖観世音	東京都北区浮間
6	清泰寺	十一面観世音	緑区東浦和	24	善光寺	聖観世音	川口市舟戸町
7	観音院	聖観世音	川口市柳崎	25	最勝院	十一面観世音	川口市飯塚
8	福聚院	聖観世音	南区大谷口	26	並木堂	聖観世音	川口市並木町
9	二ツ堂	聖観音	川口市芝塚原	27	良光院	聖観世音	川口市西青木
10	宝性寺	聖観世音	南区南本町	28	千手院	千手観世音	川口市坂下町
11	観音堂	聖観世音	南区白幡	29	地藏院	十一面観世音	川口市桜町
12	廣田寺	聖観世音	南区沼影	30	真乗院	聖観世音	川口市石神
13	如意輪寺	如意輪観世音	桜区田島	31	木揃堂	十一面観世音	川口市木曾呂
14	観音堂	聖観世音	南区四谷	32	観福寺	千手観世音	川口市前川町
15	普門寺	聖観世音	南区内谷	33	定正寺	聖観世音	蕨市塚越
16	徳祥寺	聖観世音	戸田市美女木	番外	法福寺	十一面観世音	川口市里
17	平等寺	聖観世音	戸田市下笹目	番外	観音寺	聖観世音	緑区大間木
18	観音寺	如意輪観世音	戸田市新曾				

※1番満福寺は、廃寺となった観音寺より観音像を移転。2番廓信寺は、無住であった観音子を境内に移転。札書本尊は、主に御朱印による。



## 春から夏の行事カレンダー

### ●企画展「ちょっと昔のくらしの道具展」

期間 5月6日(水・祝)まで  
内容 道具をとおり、昔のくらしを振り返ります。

### ●企画展「弥生時代中期のさいたま」(仮称)

期間 6月6日(土)～7月5日(日)  
内容 弥生時代中期の土器・石器等を展示します。

### ●企画展「夏休み子ども博物館」

期間 7月18日(土)～8月30日(日)  
内容 小学生を対象に、コーナー展示と、昔のあそびやおもちゃ作りなどの「体験教室」を行います。

### ●親子探鳥会

日時 6月13日(土) 9時～12時頃  
内容 見沼たんぼでバードウォッチング  
対象 小学生とその保護者20組(要申込)  
集合 9時に浦和博物館集合  
その他 雨天決行。双眼鏡なくても可

### ●夏休み体験教室

●手作りおもちゃ  
日程 7月25日(土)  
●見沼通船堀の仕組み実験  
日程 8月1日(土)・2日(日)

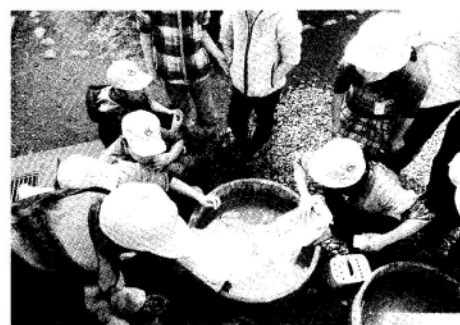
※この他にも体験講座を実施します。内容や日程などの詳細は「市報さいたま」に掲載します。

## 日誌抄

- H26. 10/19(日) 定例探鳥会  
10/25(土)～11/30(日) 特別展「中世の造像」  
11/1(土)～9(日) 特別公開(茶の花図)  
11/5(水) 体験学習(常盤小3年生)  
11/15(土) 関連講座「仏像彫刻の見方・楽しみ方」  
11/16(日) 定例探鳥会  
12/2(火)～4(木) 中学生職場体験(本太中学校)  
12/20(土)～5/6(水) 企画展  
「ちょっと昔のくらしの道具展」  
12/21(日) 定例探鳥会  
H27. 1/10(土)～12(月) 昔のあそび・おもちゃづくり  
1/14(水)～16(金) 中学生職場体験(美園中学校)  
1/18(日) 定例探鳥会  
1/21(水) 三室小学校(3年生)体験学習  
1/21(水)～23(金) 中学生職場体験(木崎中学校)  
1/27(火)～29(木) 中学生職場体験(東浦和中学校)  
2/1(日)～28(土) 昔の道具さがし  
2/10(火) ルーテル学院(3年生)体験学習  
2/15(日) 定例探鳥会  
2/20(金) 東浦和図書館連携講座  
2/25(水) 川口市立戸塚東小学校(3年生)  
体験学習  
2/25(水)～27(金) 中学生職場体験  
(浦和中学校)  
3/15(日) 定例探鳥会



▲特別展関連講座



▲3年生体験学習

さいたま市立浦和博物館報 **あかんさす** No.109  
編集・発行 さいたま市立浦和博物館  
〒336-0911 さいたま市緑区三室2458番地  
TEL・FAX 048-874-3960  
発行日 平成27年3月25日  
ホームページ <http://www.city.saitama.jp/>  
E-mail [urawa-museum@city.saitama.lg.jp](mailto:urawa-museum@city.saitama.lg.jp)

この館報は2,000部作成し、一部当たりの印刷経費は25円です。

